



報道発表資料の配付日時 1月18日(木)10時00分

発表項目 (行事名)	令和5年度(2023年度)第1回タンチョウ越冬分布調査の結果について		
概要 ※日時・場所・ 内容等	絶滅危惧種タンチョウの越冬分布・規模の把握等を目的として毎年実施している本調査について、次のとおり今年度1回目の調査を実施しました。		
	1 調査実施日時等		
		令和5年度(2023年度) 第1回	令和4年度(2022年度) 第1回
	調査日時	12月5日(火) 8:50~9:10	12月2日(金) 8:50~9:10
	調査区域	10振興局 44市町村	10振興局 46市町村
	調査箇所	計354地区(407箇所)	計362地区(419箇所)
	調査協力者	小・中学生など計334人	小・中学生など計406人
	※十勝での調査時間は一部地域を除き9:00~10:00までです。		
	2 タンチョウ確認羽数 (単位:羽)		
	令和5年度 (2023年度) 第1回	合計:1,086【成鳥:918、幼鳥:115、不明:16、飼育個体:37】 うち野生個体:1,049【空知:3、石狩:0、胆振:11、日高:4、留萌:0、宗谷:8、 オホーツク:0、十勝:209、釧路:756、根室:58】	
	令和4年度 (2022年度) 第1回	合計:972【成鳥:818、幼鳥:98、不明:17、飼育個体:39】 うち野生個体:933【空知:3、石狩:0、後志:0、胆振:6、日高:6、宗谷:2、 オホーツク:0、十勝:198、釧路:668、根室:50】	
	3 今回の調査結果に対する有識者コメント概要 <small>まさとみ ひろゆき</small> (有識者:正富 宏之 専修大学北海道短期大学名誉教授)		
	○ 確認羽数について、前年度同期より116羽(野生個体)多い。 ○ 調査精度向上が認められる十勝・根室管内の確認数が前年同様のレベルであることから、釧路管内での個体の新たな確認が理由と考えられる。 ○ 個体数増加に伴い分布域を広げつつあり、幅広く環境教育としての調査参加 を呼びかけるべき。		
参 考	今年度第2回目の調査は令和6年(2024年)1月24日(水)に実施する予定です。		
報道(取材)に当たってのお願い			
留意事項 ※日時・場所・ 発表者等	同時配付 同時レク 記者レク	道政記者クラブ、空知、石狩、胆振、日高、留萌、宗谷、オホーツク、釧路、根室の各(総合)振興局で同時配付します。	
その他	第1回調査では、地元の小・中学校の児童、生徒をはじめ多くの方々の御協力をいただいております。また、本調査は、平成29年度から北海道と包括連携協定を締結している日本航空株式会社と協働で実施していますので、積極的な報道をお願いします。		
担当 (連絡先)	北海道十勝総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係(担当者:課長 廣橋、係長 小川) tel 0155-26-9028(直通)		